

川田市長と

まちかど

開催報告

タウンミーティング



開催概要

日時: 令和6年10月29日(火)午前10時から11時

会場: 長町南集会所

参加者: 10名

テーマ: まちづくり

タウンミーティングの流れ

- ① 開会
- ② 市長から説明（開催の目的と概要、八幡市の現状と課題 等）
- ③ 参加者と市長との意見交換（テーマについて意見交換）
- ④ 閉会

【意見交換の主な内容】



参加者

災害時に避難に使用できるように、近隣の民間企業と災害協定等を結んでもらいたい。

そして、災害時の要援護者のリストについて、自治会で把握している人数と開きがあり、リストを一本化するべき。



市長

逃げ遅れたときのための民間企業との協定拡大に向けて、話をさせていただければと思っています。

災害時要援護者のリストは、現在、市の災害時要援護者支援対策事業としてリスト化作業をしております。個人情報保護の観点から、自治会に加入されている方の中で提供にご同意いただいた方のみ、提供させていただいております。



参加者

旧京都府立消防学校の建物について、京都府と連携し改築等を行い、高い建物を建設できないのか。

普段は市民等に開放できる施設とし、災害時は防災拠点としての機能があるものがよい。



市長

近辺の防災拠点については、京都府や久御山町、京都市等とも話をしています。



参加者

私のまちづくりのイメージは「子育て」。

八幡市には、すすくの杜などきれいな施設があるのは知っているが、公共交通機関でのアクセスが悪く車が無いと行けない。また、市で色々イベントなど開催いただいているが参加ができない。

子どもが大きくなるにつれ、遊ぶ場所が無い。昔は学校の校庭が開放されていたが、近く的美豆小学校の校庭は開放していない。防犯面での課題があると思うが、校庭の開放を京都市と協議してほしい。



市長

「子育て」もまちづくりの一つで非常に大事だと思っています。

長町、樋ノ口地域は、行政区が入り組んでおり、自治体間の行政サービスの連携が大切になってきます。

子供の遊び場については、京都市と話を行う場もございますので、教育委員会と協議いたします。



参加者

京都市はバスの乗車運賃に補助を出している。八幡市は補助しないのか。



市長

八幡市ではバスの単独運営は難しいため、コミュニティバスを運行委託しており、公共交通については、現在デマンド交通等も含め再編検討しております。